

知らないオドロキが色々色々



和歌山県観光振興実施行動計画

= 観光振興アクションプログラム2026 =

2026年4月

和歌山県・（公社）和歌山県観光連盟



毎日に少し疲れたら、和歌山を訪れてはどうでしょう。

大自然と信仰が融合する熊野は、一度死んで魂を清め、
よみがえるためにお詣りする場所だと言われています。

約1200年前、密教の聖地を開いた空海は、
いまでも高野山で祈りを続けていると信じられています。

世界遺産を巡る旅路には、神話に出てくる温泉や美しい海、
おいしい酒や食べ物が豊富にあります。

そう、ここは、心と体を再生する聖地リゾート。

古代から、すべての人を寛容に迎え入れてきた国。

旅のはじまりの地と言われるこの和歌山へ、
新しい自分をはじめに来ませんか。

知らないオドロキが色々々々

聖地リゾート!!!!

Seichi Resort
WAKAYAMA

和歌山



【お問い合わせ】

観光振興課	073-441-2777
観光交流課	073-441-2785
観光産業共創課	073-441-2746
(公社)県観光連盟	073-441-2776

～旅のはじまり「和歌山」～

本県が位置する紀伊半島は、海洋プレートの沈み込みや約1400万年前の巨大な火山活動により奇岩、巨岩、滝など独特の景観が形成されました。これら雄大な自然への畏敬の念から自然崇拝を起源とする神道が生まれ、さらに6世紀以降には仏教などが伝来し、それぞれの霊場が融合しあい、紀伊半島独特の信仰世界が育まれ、霊場の一つ熊野三山を目指す熊野詣に代表される巡礼の旅は、「日本における旅のはじまり」とされています。

本県には、このような信仰の歴史の中で育まれた世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に象徴される歴史・文化をはじめ、西日本有数の温泉、四季折々の豊かな食、絶景を活かした体験など、国内外に誇る豊富な観光資源があります。また、「精神性」「持続可能性」「静謐さ」の3つの特質も備えており、日本を代表する聖地としての価値と、心身を癒やすリゾートとしての魅力を併せ持つ、他に類を見ない地域です。

これら3つの特質を最大限に活かしながら、国内外からの誘客を推進するとともに、広域周遊や滞在日数の延長による観光消費の拡大を図り、観光地の持続的な発展につなげていきます。

和歌山が持つ3つの「S」

- **S**pirituality
(高野山熊野に代表される精神性)
- **S**ustainability
(和歌山の自然環境)
- **S**erenity
(和歌山の静謐さ)

キャッチフレーズ



日本人の聖地であり、リゾート地でもある旅のはじまり「和歌山」

「知らないオドロキが色々」をコンセプトにビックリマークを付したロゴ

本計画の位置づけ

本計画は、和歌山県観光立県推進条例第11条第1項に定める観光振興実施行動計画として策定。
県の基本理念・総合計画の方向性に沿って、令和8年度に取り組むべき観光振興施策をまとめたものです。

上位計画

和歌山県総合計画

- ・長期構想 (2040年を展望)
- ・アクションプラン (2026年度から2030年度までの5年間)

～県政全般の方向性・戦略を示す県の最上位計画～



上記アクションプラン内の「観光分野」における戦略の柱



「稼ぐ」観光の推進



地域が一体となった
観光地域づくり



持続的な
保全と活用



本計画

観光振興アクションプログラム2026

～観光分野における戦略テーマ毎の実施計画～

総合計画のアクションプランにおける「観光分野」の戦略

KGI（重要目標達成指標）	2024年	2030年（目標）	2040年（目標）
旅行消費額	2,781億円	2,900億円	3,100億円
うち訪日外国人旅行消費額	179億円	300億円	500億円

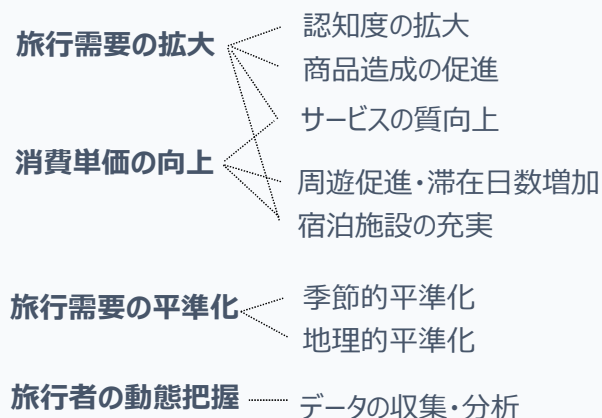
戦略 01

「稼ぐ」観光の推進

目的

戦略的なプロモーションと高付加価値化を推進し、来訪者数の増加に加えて滞在期間の延長や消費単価の向上を図ることで、観光消費額を拡大し、観光収益が地域内で循環する持続可能な活性化を目指す。

KSF（重要成功要因）



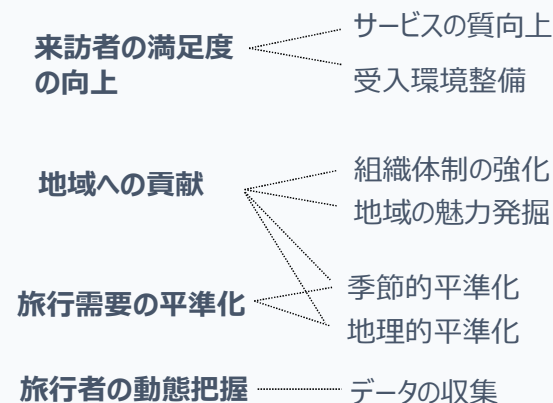
戦略 02

地域が一体となった観光地域づくり

目的

観光人材育成や組織体制の強化、受入環境整備を通じて、観光の恩恵を地域全体で享受できる観光地域づくりを目指す。

KSF（重要成功要因）



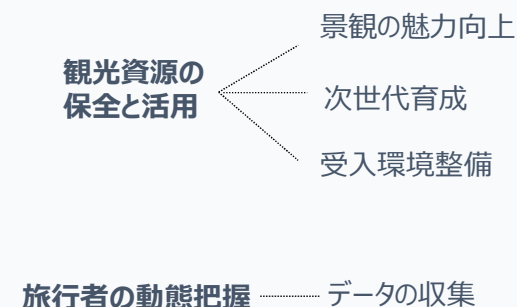
戦略 03

持続的な保全と活用

目的

自然・景観・歴史文化資源の適切な保全と観光資源としての活用を両立させ、持続可能な観光地の実現を目指す。

KSF（重要成功要因）



観光振興アクションプログラム2026の全体像

01 「稼ぐ」観光の推進

◎ 2026年度 重点取組

★ 誘客プロモーション

- ・大河ドラマ「豊臣兄弟!」を契機とした取組
- ・「温泉と食」を活かした誘客推進
- ・「和歌山を旅する価値」を訴求するコンセプトブック作成

★ 観光情報基盤の強化

1-1 国内誘客プロモーション

- ・メディア等による情報発信 ・首都圏プロモーション
- ・旅行会社向け提案活動 ・大型観光展への出展
- ・多様な誘致活動（MICE、教育旅行 等）
- ・多様な切り口での情報発信（ロケット、ペット、釣り 等）
- ・**大河ドラマ「豊臣兄弟!」を契機とした取組**
- ・テーマ毎によるターゲット層へのプロモーション（**温泉と食**、世界遺産、ジオパーク、アウトドア、サイクリング）

1-2 海外誘客プロモーション

- ・観光プロモーターの設置
- ・現地セールスの実施
- ・旅行会社、メディアの視察・取材支援の実施
- ・メディア等による情報発信、認知度向上
- ・市場説明会や個別相談会の開催
- ・**「和歌山を旅する価値」を訴求するコンセプトブック作成**
- ・観光庁事業を活用した紀伊半島三県による広域連携プロモーションの実施

1-3 観光産業投資の促進

- ・地域と連携した観光施設の誘致
- ・高付加価値・滞在型観光の創出
- ・民間活力導入による経営効率化

1-4 観光情報基盤の強化

- ・観光統計データの充実 ・地域版OTAの充実
- ・地域伴走支援

02 地域が一体となった観光地域づくり

◎ 2026年度 重点取組

★ 観光地域づくり組織への支援

- ・外部人材の登用による県観光連盟の体制強化
- ・紀伊半島三県による広域連携の推進

2-1 観光人材の育成

- ・観光地域づくり組織等の体制及び連携強化
- ・地域の魅力をわかりやすく伝える人材の育成

2-2 地域ストーリーを活かした観光振興

- ・日本遺産を活用した地域の魅力発信
- ・わかやま歴史物語 1 0 0

2-3 観光地域づくり組織への支援

- ・**外部人材の登用による県観光連盟の体制強化**
- ・**紀伊半島三県による広域連携の推進**
- ・広域観光協議会の活動支援 等

2-4 受入環境整備

- ・二次交通の利便性向上と利用促進
- ・観光客の防災対策
- ・飲食店の多言語対応促進
- ・インバウンド向け体験型コンテンツの充実

2-5 熊野白浜リゾート空港の活用

- ・国内線の利用促進
- ・国際チャーター便の誘致
- ・空港アクセスの強化
- ・コワーキングスペースの運営

03 持続的な保全と活用

◎ 2026年度 重点取組

★ 観光資源の保全と活用

- ・自然環境の変化に対応した新たな観光スタイルの提案

3-1 観光資源の保全と活用

- ・世界遺産の持続的な保全活動
- ・世界遺産の追加登録に向けた取組
- ・ジオパークの保全と活用の推進
- ・世界農業遺産を活用した取組
- ・観光地における景観の魅力向上
- ・**自然環境の変化に対応した新たな観光スタイルの提案**

新たな財源確保の検討

- ・観光振興財源検討部会の開催

■ 施策の目的

効果的なプロモーション展開により本県の認知度向上と旅行需要の喚起を図り、国内旅行者の来訪促進と周遊拡大を実現することで、観光消費額の拡大を図る

≡ 主な取組内容

メディア等による情報発信

- ・ 大河ドラマ「豊臣兄弟！」など旬の話題や、テーマ別の情報を積極的に発信
- ・ 県公式観光サイト、SNS公式アカウント、観光情報誌などオウンドメディアのコンテンツを充実させるとともに、市町村とのデータ連携等による活用を促進
- ・ テレビ、雑誌、SNS、インフルエンサー等を活用した情報発信
- ・ 鉄道事業者や高速道路会社とタイアップしたプロモーションの実施
- ・ PRマスターを活用した戦略的な情報発信
- ・ 和歌山県観光大使による魅力発信

首都圏プロモーション

- ・ メディア関係者対象の地域課題解決型ファンミーティングを開催
- ・ 首都圏記者を対象とした取材会の実施
- ・ メディアや企業と連携し、旅行動機を喚起させる講座を開催

大型観光展などへの出展

- ・ ツーリズムEXPOジャパン2026（東京開催）への出展
- ・ アウトドアフェス2027・サイクルモードライド大阪2027（大阪開催）への出展
- ・ 全国各地の城郭や歴史文化を紹介する城フェスやお城EXPO2026への出展



旅行商品の造成拡大

- 旅行会社等による旅行商品造成を促進するため、県内観光地や観光コンテンツの理解を深める下見視察を支援
- 団体旅行誘致支援事業補助金により、貸切バスを利用した団体旅行の催行を支援
- 首都圏発の旅行商品造成を目的としたファミツアーを実施
- 首都圏、東海圏の旅行会社との個別商談会を開催

多様な誘致活動

- 教育旅行の誘致
県外の学校や旅行会社への提案活動、事前視察費用の助成、訪日教育旅行の受入促進
- 年金旅行の誘致
県内信用金庫等と連携した提案活動を実施
- フィルムコミッション
ロケハンの受入、関係機関との調整等を支援
- MICE誘致活動
MICE開催・エキスカージョン実施費用の助成

多様な切り口での情報発信

- ロケットを活用した誘客推進
ロケットを核に、宇宙や最先端技術への関心を切り口とした情報を発信
ロケット関連のコンテンツを組み合わせた旅行商品造成拡大に向けた働きかけを実施
- ペットツーリズムの推進
「ペットフレンドリーな観光地」としての認知を広めるため、ペットの受入体制（宿泊・飲食等ペットと楽しめるスポット）を整理した情報を発信
- 釣りの聖地 和歌山
「釣りの聖地」というイメージを定着を図るため、県内各地に点在する多様な釣りフィールドの情報を利用者の視点（季節、魚種等）から整理し、手ぶらでも気軽に楽しめる初心者向けの情報を発信
- ウォーカブルの推進
「歩くこと」をテーマに、移動そのものを体験価値と捉え、古道歩きや街歩き等のニーズに対応したコースを整理するとともに、「わかやまの歩き方」として分かりやすく情報を発信



重点 大河ドラマ「豊臣兄弟！」を契機とした取組

施策の目的

豊臣家ゆかりの地を結ぶ広域周遊を促進し、歴史ファンや大河ドラマ視聴者層を取り込むことで、新たな観光需要の創出を図る

主な取組内容

情報発信の強化

- ・ オウンドメディアや外部メディアを活用した県内ゆかりの地の魅力発信
- ・ 本県ゆかりの地を紹介するパンフレット冊子を活用した情報発信

周遊促進と滞在時間延長

- ・ 和歌山城をはじめとする県内ゆかりの地を巡るストーリー性のあるモデルルートでの発信
- ・ 県内ゆかりの地を巡るモバイルスタンプラリー（聖地リゾート！和歌山モバイルスタンプラリー（歴史物語特別編））を実施
- ・ 鉄道事業者や高速道路会社とタイアップした周遊企画の実施

関連イベント・企画展の実施

- ・ 歴史ファン等をターゲットにした城フェスやお城EXPO2026等への出展
- ・ NHKや和歌山市と連携したパネル展の開催

県内市町村、他府県との広域連携

- ・ 和歌山県大河ドラマ「豊臣兄弟！」観光推進連絡会での情報連携
- ・ 大阪城や郡山城跡など県内外のゆかりの地をサイクリングで巡るモバイルスタンプラリー（WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー特別企画）を実施



重点

温泉と食

■ 施策の目的

本県の強みである「温泉」を核に「食」などの地域資源を組み合わせた取組を推進し、温泉や地域ならではの魅力をゆっくり体験したい旅行者の滞在価値を高めることで、冬季の誘客を促進し旅行需要の平準化を図る

≡ 主な取組内容

情報発信の強化

- 温泉と本県の地域資源を組み合わせた楽しみ方を、プロモーション動画や特集記事を通じて発信し、需要拡大と多様なニーズへの対応を図る
- 県内の多様な温泉の特徴を可視化したマッピング図を作成し、観光客が自分好みの温泉を直感的に選択できる環境を整え、温泉地への誘客促進を図る
- 各温泉の泉質、効能等を記載したガイドブックを制作し、和歌山の温泉が持つ魅力を改めて深掘りすることで、高付加価値化につなげる

温泉ブランド力の強化

- メディア等を活用したプロモーションや、旅行会社へのツアー商品造成の働きかけを実施

ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組

- 2030年の「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録に向けた知事の会の副会長県として、県内温泉事業者等と連携し、機運醸成を図る



世界遺産

施策の目的

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のブランド力を活かすとともに、ジオパークとも連携しながら地域の魅力を発信することで、地域の歴史・文化や人々の暮らしに関心の高い旅行者の広域周遊と滞在日数の増加を図る

主な取組内容

情報発信の強化

- ・ 県公式観光サイトやインフルエンサー等を活用したプロモーションの実施
- ・ 世界遺産三県連携事業（和歌山県・三重県・奈良県）による情報発信
- ・ 熊野古道紀伊路のPRパンフレット作成
- ・ 冬の熊野古道歩きの魅力発信等による閑散期の需要を促進
- ・ 高野山・熊野を愛する100人の会による情報発信

周遊促進と滞在時間延長

- ・ 熊野古道及び高野参詣道のロングトレイルの推進
- ・ 街道マップや押印帳を活用した参詣道ウォークの推進
- ・ 京都から熊野三山に至る世界遺産関係社寺を巡る「熊野御幸御朱印めぐり」を活用した広域周遊を推進

ジオパークとの連携強化

- ・ 世界遺産とジオサイトを巡るルール＆ウォークモデルコースの造成、発信
- ・ 世界遺産センターとジオパークセンターの連携によるイベントの開催



アウトドア

■ 施策の目的

本県の豊かな海、山、川の自然環境を活用した体験コンテンツを充実させ、若年層やファミリー層の需要を獲得することで、年間を通じた誘客の平準化を図る

≡ 主な取組内容

情報発信の強化

- PR動画作成、TikTok・Instagram・YouTubeでの多彩なアクティビティ体験メニュー発信による若年層・ファミリー層への訴求を図る
- アウトドアフェス2027（大阪開催）への出展
- 通年楽しめる多彩なキャンプ場、グランピング施設の魅力を発信

周遊促進と滞在時間延長

- 自然や絶景スポットを周遊できるモバイルスタンプラリー（聖地リゾート！和歌山 モバイルスタンプラリー（フォトジェニック編））を実施

わかやま“ほんまもん”体験

- 体験型観光の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、県オウンドメディアにおける情報提供の充実を図る
- 地域版OTAを活用したオンライン予約の登録促進により、観光客の利便性向上を図る



サイクリング

施策の目的

県内全域800kmを超える推奨ルートと絶景、温泉、食を組み合わせ、サイクリング愛好者だけでなくライト層も無限大のサイクリング旅が楽しめる取組を通じ、「WAKAYAMA 800 = サイクリングの最適地」のイメージ定着を図る

主な取組内容

情報発信の強化

- ・ 専門誌、WEB、SNSでの情報発信
- ・ サイクルモードライド2027（大阪）等への出展
- ・ 交通事業者等と連携したPR活動

周遊促進と滞在時間延長

- ・ 京奈和自動車道周辺地域や大河ドラマ「豊臣兄弟！」ゆかりの地域と連携した「WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー」の拡充
- ・ サイクルトレインを組み合わせたモデルコースの発信

安全、安心なサイクリング環境の整備（ソフト）

- ・ サイクルステーションやサイクリストに優しい宿の認定・拡充
- ・ サイクルトレインの利用促進
- ・ 太平洋岸自転車道（ナショナルサイクルルート）の路面表示等の充実



🚩 施策の目的

海外現地でプロモーションを展開し、インバウンド需要を積極的に取り込むことにより、本県における旅行消費額の拡大を図る

📌 主な取組内容

観光プロモーター（レップ）の設置

- 重点10市場（中国、香港、台湾、韓国、タイ、シンガポール、イギリス、フランス、アメリカ、オーストラリア）において観光プロモーター（レップ）を設置し、現地において旅行会社やメディアに対し継続的にセールス活動、情報発信、情報収集を実施
- 現地言語でのSNS等による和歌山観光情報の発信

現地セールスの実施

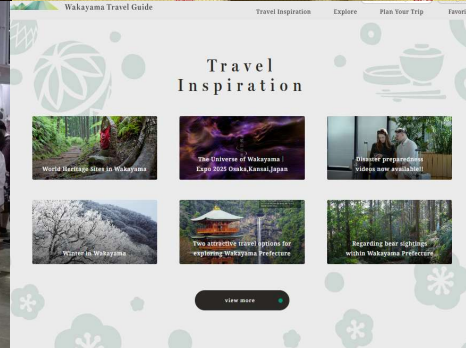
- 海外各市場の旅行会社やメディアを直接訪問しセールス活動を実施
- 県主催による現地旅行会社と県内観光事業者の合同商談会を開催（台湾）
- 海外現地開催の国際旅行博覧会や商談会に出展し、和歌山観光情報を発信

旅行会社、メディアの視察・取材支援（FAMトリップ）の実施

- 海外の旅行会社・国内のランド旅行会社による商品造成を目的とした下見を支援
- 海外旅行雑誌、TV番組、インフルエンサー等による取材を支援

メディア等による情報発信・認知度向上

- メディアやSNSインフルエンサー、オウンドメディア（県公式多言語サイト）等により和歌山観光情報を広く発信し、海外各市場において和歌山の認知度向上を図る



市場説明会や個別相談会の開催

- 県内観光事業者向けに、観光プロモーターによる市場説明会と個別相談会を開催
- 県内観光事業者と在京・在阪のランド旅行社をつなぐランドオペレーター商談会を開催

重点

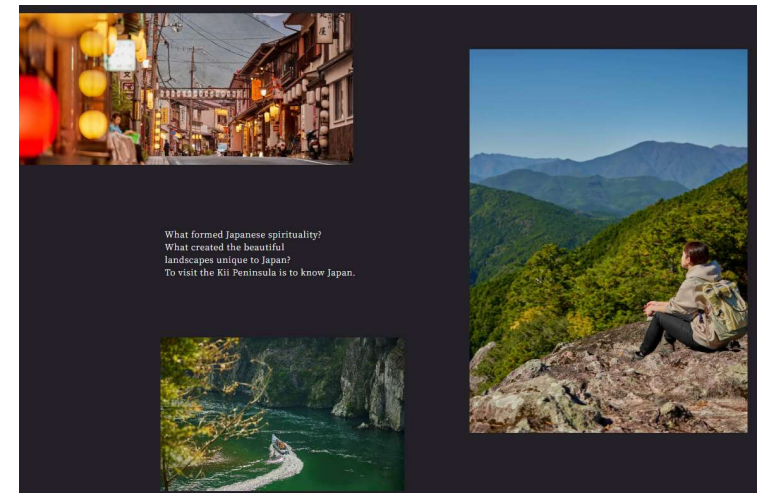
「和歌山を旅する価値」を訴求するコンセプトブック作成

- 県内の観光資源について、それらがなぜ和歌山で成立したのかを深掘りし、観光資源の魅力の根源にある価値（コアバリュー）をまとめた「コンセプトブック」を作成
- 県内の観光関係者が和歌山の観光の価値について共通認識を持ち、統一的なマーケティング・プロモーションを図ることで、他の地域にはない魅力を訴求できる訪問先となっていくことを目指す

重点

観光庁事業を活用した紀伊半島三県（奈良・三重・和歌山）による広域連携プロモーションの実施

- 観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」による、高付加価値旅行者層の誘客に向けて集中的な支援を行うモデル観光地14地域として、紀伊半島三県にまたがる「紀伊山地及び周辺地域」が選定
- 欧米豪市場の高付加価値旅行者層をターゲットに、「紀伊半島」ブランドによるマーケティングプロモーションを実施



🚩 施策の目的

高級宿泊施設や観光レジャー施設等の観光産業投資を民間と協働して促進し、観光地の高付加価値化と再生を目指す

≡ 主な取組内容

地域と連携した観光施設の誘致

- 市町村や地元関係者と連携し、ホテル候補地等の素地調査を進めるとともに、民間事業者への情報発信や個別提案を通じて、高級宿泊施設等の観光施設の誘致を推進

高付加価値・滞在型観光の創出

- 高付加価値旅行者やインバウンドに選ばれる観光地として競争力を高めていくため、高級宿泊施設等の観光施設と周辺地域とのマッチングを促進し、地域経済全体の波及効果を図る

民間活力導入による経営効率化

- 施設の維持管理が課題になっている公営観光施設等について、民間活力の導入を促進することで、施設の価値や魅力を向上させ、持続可能な運営を目指す



🚩 施策の目的

経験や勘に頼るだけでなく、データに基づく戦略的な観光地域づくりへの転換を進め、市町村やDMO等と連携して地域全体で稼ぐ力の向上を図る

≡ 主な取組内容

重点

観光統計データの充実

- 人流データシステムを導入し、GPS情報や基地局データ等を活用した来訪者属性・周遊ルート等の詳細分析を行うことで、客観的データに基づく観光施策の立案及び事業効果の検証を推進
- 来訪者アンケート等を充実させ、旅行動機や満足度、消費行動等の定性的な情報を把握することで、観光コンテンツの磨き上げや受入環境整備の充実を図る

地域伴走支援

- モデル観光地において地域に入り込み、関係者との丁寧な対話を通じて地域の目指す姿を明確化するとともに、データ分析に基づく具体的な取組の立案まで一体的な支援を実施

地域版OTAの充実

- 県観光サイトから情報発信と併せ、予約・決済までをシームレスに行えるシステムへの体験コンテンツ等の登録を促進し、観光客の利便性向上、観光事業者の販路拡大を図る



和歌山県観光統計データ



施策の目的

DMO等の体制及び連携強化、観光人材の確保・育成を通じて、質の高いサービスの提供を図る

主な取組内容

観光地域づくり組織等の体制及び連携強化

- 観光・地域づくり講座
和歌山大学と連携し、観光地経営や観光ビジネスの分野で高く評価されているキーパーソンを講師に招へいし講座を開催。実践事例を通じて地域の観光振興や観光地域づくりの担い手となる人材の育成を図る
- 観光地域マネジメント勉強会
県内のDMOや観光協会等を対象に、専門家による講演やワークショップ形式の勉強会等を開催。知見の共有や意見交換を通じてDMO等の組織間の連携強化と組織力の向上を図る

地域の魅力をわかりやすく伝える人材の育成

- 紀州語り部の確保・育成
ガイドの質向上を図るため、他分野のガイドも含めたレベルアップ支援を行うとともに、登録者等を育成する研修会を開催
- 南紀熊野ジオパークガイドの確保・育成
ガイドの認定やエリア拡大・スキルアップ研修の実施に加え、世界遺産分野の関係者と連携した研修を実施
- 高野・熊野地域通訳案内士の確保・育成
4言語（英語、中国語、スペイン語、フランス語）でのガイド育成・認定や実地研修、就業機会の促進に向けた講座の開催に加え、ジオパーク分野の関係者と連携した研修を実施

2025年度 和歌山大学 「観光・地域づくり」講座

開催日程	第1回	10月16日(木)	18時10分～19時40分
	第2回	11月13日(木)	18時10分～19時40分
	第3回	11月27日(木)	18時10分～19時40分
	第4回	12月11日(木)	18時10分～19時40分
	第5回	12月18日(木)	18時10分～19時40分

会場: Zoomウェビナー(オンライン)開催
対象: 観光・地域づくりなどに関心のある方はどなたでも参加いただけます。
定員: 300名(各回先着順) 受講料無料
申込方法: 右記QRコード、または観光学部HP内の本講座ページよりお申込ください。
問合せ先: 和歌山大学 観光学部 観光実践教育サポートオフィス

第1回 観光地域マネジメント勉強会

観光地域づくり組織に求められる役割について、JTIC SWISS代表 山田桂一郎氏と(一社)筑仙沼地域戦略の小松志大氏を講師にお迎えし、講義・グループワークを通して一緒に探っていきましょう！

令和8年 1月9日(金)

- 日時: 令和8年1月9日(金) 14:00～17:00
- 場所: 和歌山県自治会館2階201・202 (和歌山市茶屋ノ丁2-1)
- 参加費: 無料(事前申し込み制)
- 申込方法: 下記申し込みフォームからお申込み
- 対象者: DMO、観光協会、行政の職員

内容: 14:00～15:30 講義① 山田桂一郎氏 「観光地域づくり組織が担うべき役割について」
講義② 小松志大氏 「筑仙沼での取組事例 ～観光に係る関係者の業務の見える化について～」
15:40～17:00 グループワーク
17:00以降 交流会 ※会費制となります

講師: JTIC SWISS 代表 山田桂一郎氏
講師: (一社) 筑仙沼地域戦略 専務理事・事務局長 小松志大氏

問い合わせ先: 和歌山県地域振興観光局 観光振興課 TEL: 073-441-2777
申し込みフォーム: https://logofom.jp/form/WEVN/1345436 ※1月7日(水)までにお申し込み願います。



相互連携



🚩 施策の目的

地域ストーリーを核に、地域固有の歴史・文化資源の価値を高め、周遊促進と滞在価値の向上を図る

📋 主な取組内容

日本遺産を活用した地域の魅力発掘

- 認定ストーリーを活用した周遊促進
それぞれのストーリーを活用し、地域住民と連携した取組やモデルコースの発信などにより、周遊を促進
- 戦略的な情報発信
メディア等とタイアップしたPRや文化庁イベントへの出展等を通じ、ターゲットに応じた情報を発信

(本県が関係する7つの日本遺産)

- 「絶景の宝庫 和歌の浦」(和歌山市、海南市)
- 「『葛城修験』-里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」(和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町)
- 「鯨とともに生きる」(新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町)
- 「百世の安堵」~津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産~ (広川町)
- 「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅 (湯浅町)
- 1300年つづく日本の終活の旅~西国三十三所観音巡礼~ (和歌山市、紀の川市、那智勝浦町)
- 女性とともに今に息づく女人高野~時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地~ (九度山町、高野町)



日本遺産

わかやま歴史物語100による発信

- 本県の知られざる歴史・文化の魅力の特設WEBサイトで「100の旅モデル」として、モデルコースを発信
- 「聖地リゾート！和歌山 モバイルスタンプラリー」と連動し、「わかやま歴史物語100」の各ストーリーに関連する場所100箇所をスポットとして設定し、周遊を促進



施策の目的

地域が主体的に観光振興に取り組む体制を強化し、地域資源や特色を生かした持続可能な観光地域づくりを推進する

主な取組内容

重点

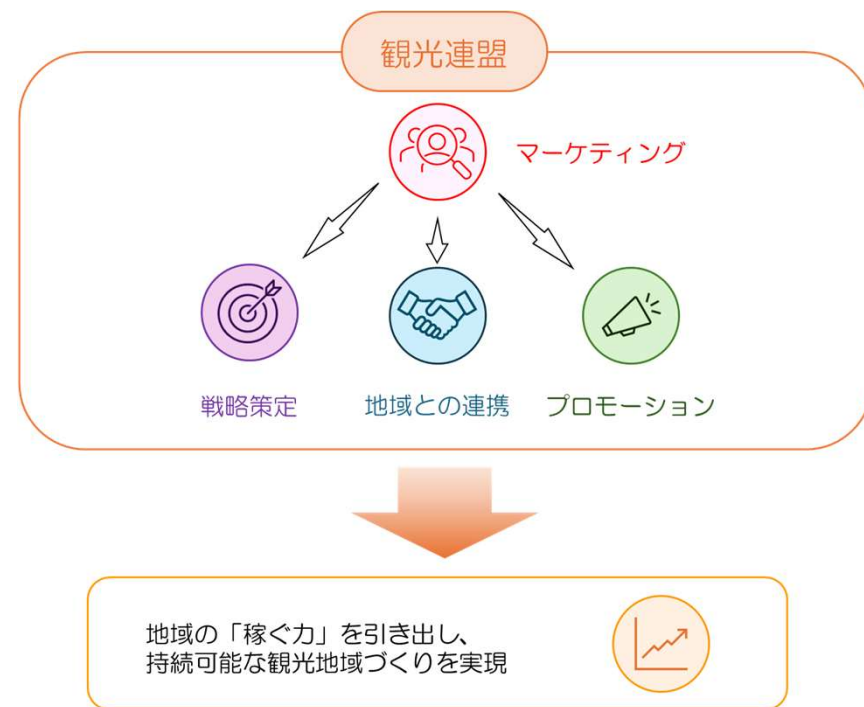
外部人材の登用による県観光連盟の体制強化

- 地域の「稼ぐ力」を引き出し、持続可能な観光地づくりを実現するため、都道府県DMOとしての県観光連盟の体制強化を図る
- 県観光連盟の戦略的な観光マネジメントの実践を担う外部人材を登用

重点

紀伊半島三県（奈良、三重、和歌山）による広域連携の推進

- 欧米豪の高付加価値旅行者層をターゲットにした需要喚起と供給拡大の循環を継続するため、地域金融機関と連携しながらプロモーション、事業者支援やホテル誘致等の投資を一体的に進める環境づくりを推進



広域観光協議会の活動支援

- 振興局が中心となり市町村と共同で運営する広域観光協議会（事務局：振興局）の活動経費を支援
- 各市町村との連携による各地域の特性を生かした広域的な観光地域づくりの取り組みを推進

（取組内容）

サイクリングを活用した紀の川エリア誘客・周遊促進事業
世界農業遺産を活用した誘客・周遊事業 等

振興局地域づくり支援事業（ソフト（補助事業））

- 地域の資源や特色を生かした個性豊かで活力ある地域づくりを推進する、市町村や民間団体等への補助事業

対象者：市町村、和歌山県に本拠を持ち県内で活動する民間団体 等

補助率：1/2（上限額：予算の範囲内）

申請先：各振興局地域づくり課

（採択例）

WEST EXPRESS 銀河受入事業
南紀白浜まち歩き促進と魅力発掘事業 等

振興局地域課題解決促進事業（ハード（補助事業）、ソフト）

（ハード（補助事業））

- 市町村等が行う個性あふれる地域の賑わいづくりに係る環境整備への補助事業

対象者：市町村 等

補助率：1/2（上限額：3,000～5,000千円）

申請先：各振興局地域づくり課

（採択例）

観光物産センターリニューアル事業
温泉関連施設改築事業 等

（ソフト）

- 地域の窓口である振興局が、地域課題を把握し、それぞれの地域の実情に応じた事業を提案・実施することで地域振興を図る



（温泉関連施設改築イメージ）

🚩 施策の目的

国内外からの観光客が快適で安全に県内を周遊・滞在し、多様なニーズに対応して満足度向上につなげられるよう、受入環境整備を推進

📋 主な取組内容

二次交通の利便性向上と利用促進

- バス停等における案内表示の多言語化
世界遺産エリアを中心に時刻表、周辺観光案内図、広域路線図等を整備
- リムジンバス、アクセスバスの運行
世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス（高野山～熊野本宮大社間）
運行期間：令和8年4月2日～11月30日（毎週火・水を除く）
「京都・高野山」高速バス（京都駅～高野山間）
運行期間：令和8年4月10日～11月29日
- 交通事業者とタイアップした利用促進
鉄道利用に関するモデルコースを組み込んだオリジナル冊子の作製
主な観光スポットへのアクセスマップの作製
公共交通で来訪した宿泊客への商品券付与
観光列車を活用したプロモーションの展開
鉄道の利用促進及び観光誘客に向けたプロモーション（イベント、駅広告 等）の展開

観光客の防災対策

- 災害時の対応力向上のため、観光関連事業者向けの研修会等を実施
- 観光客向け防災動画などの普及啓発

飲食店の多言語対応促進

- 多言語でのメニュー作成支援及び飲食店検索WEBサイト「EAT WAKAYAMA」を運用

インバウンド向け体験型観光コンテンツの充実

- コンテンツ提供事業者向けにインバウンドの受入体制を整えるための支援を実施



🚩 施策の目的

地元空港の利用促進により地域経済や観光産業等の活性化を推進

📌 主な取組内容

国内線の利用促進

- 年2万人の利用者増、羽田線4往復8便化を目指す
首都圏等からの誘客促進、和歌山県からの送客促進

(取組内容)

OTAを活用したプロモーション、需要平準化・空席対策、ビジネス利用促進、二地域居住促進、航空貨物活用、空港＋公共交通機関の利用促進 等

国際チャーター便の誘致

- 将来的な定期線の就航を目指し、積極的にチャーター便を誘致
運航経費や旅行商品造成補助、誘致プロモーション 等

空港アクセスの強化

- 空港利用者の利便性向上のため、空港周辺の交通アクセスを強化
空港連絡バスの運行

コワーキングスペースの運営

- 空港振興施策を展開する拠点として空港内に設置したコワーキングスペースを運営



ぐるっと和歌山・熊野白浜の旅
WAKAYAMA KUMANOHIRAHAMA

羽田空港発着の方（※乗継利用除く）、往復とも羽田～南紀白浜線を利用される方、和歌山県内宿泊施設に1泊以上される方は、おひとり様5,000円割引！

※本企画は熊野白浜リゾート空港地域振興委員会の助成金により実施しています。



熊野古道～大門坂～

これぞ“参詣道”の雄風！はじまりの坂



JALふるさとアンバサダー
金川 幸子

熊野古道の仏壇口・大門坂。一歩、足を踏み入れば、日影が静かに覆われていく。石段の階段が先まで続き、木々に囲まれた空は手触りな安心感に包まれます。登りはじめは熱ならず、ゆっくりと、静かな呼吸がだんだん肌に馴染み、心がすっと涼んでいく……そんな場所です。



那智山

古道を歩む祈りの橋



JALふるさとアンバサダー
中村 麗希

1,300年以上もの歴史を持つ那智神社は、那智古道において神様の神を結ぶ聖地として古くから信仰を集めてきました。四国三十三所巡礼の第一参拜所である那智大滝からは、静謐な気が美しく溢れ、自然と心が癒される風情が広がります。

施策の目的

世界遺産やジオパークの保全と活用の両立を図り、持続可能な観光地域づくりを推進するとともに、その価値を次世代へ継承する

主な取組内容

世界遺産の持続的な保全活動

- 保全活動の推進と機運醸成
道普請等の保全活動とトレッキングを組み合わせたイベントの実施によるシビックプライドの形成を推進
企業のCSR活動等による「10万人の参詣道保全活動」を実施
案内板整備等による受入環境整備を推進
- 次世代育成
資産を確実に保存し次世代へ継承するための教育活動を推進
世界遺産マスターと連携した学習支援

世界遺産の追加登録に向けた取組

- 世界遺産追加登録に向けた機運醸成
熊野古道紀伊路におけるロングトレイルプロモーションの実施
熊野古道紀伊路 P Rパンフレットの作成

ジオパークの保全と活用の推進

- 学術研究の推進
研究成果の国際紙掲載、大学生・博士課程の研究費用助成
- 国際交流事業の推進
ジオパークの国際大会や研修会への参加によりユネスコ世界ジオパーク認定地域と交流を深め、ジオパーク活動を更に充実
- 日本ジオパーク全国大会（和歌山大会）誘致に向けた取組推進
大会ホームページの開設、関係者への大会視察協力



世界農業遺産を活用した取組

- 認定地域内にある本県の魅力ある観光資源を含めた周遊モデルコースの作成や体験型観光のPR、旅行商品造成の働きかけなどを推進
(本県の世界農業遺産)
「みなべ・田辺の梅システム」(2015年12月認定)
「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」(2025年8月認定)



観光地における景観対策

- 観光地の景観が地域の価値や滞在満足度を左右する重要な要素であるため、研修会を開催し、観光に求められる景観のあり方について理解を深めるとともに、関係者間の連携を図る



重点

自然環境の変化に対応した新たな観光スタイルの提案

- 日中の暑さや混雑を避けて楽しむ早朝・夜間の観光コンテンツ(朝の競り見学、ナイトツアー等)や、冬季の魅力を活かした観光コンテンツ(冬の熊野古道等)を推進
- 和歌山県公式観光サイトにおいて特集ページを掲載し、効果的な情報発信を実施



施策の目的

持続可能な観光地を目指すための、安定的な財源確保を検討

主な取組内容

和歌山県観光振興財源検討部会の開催

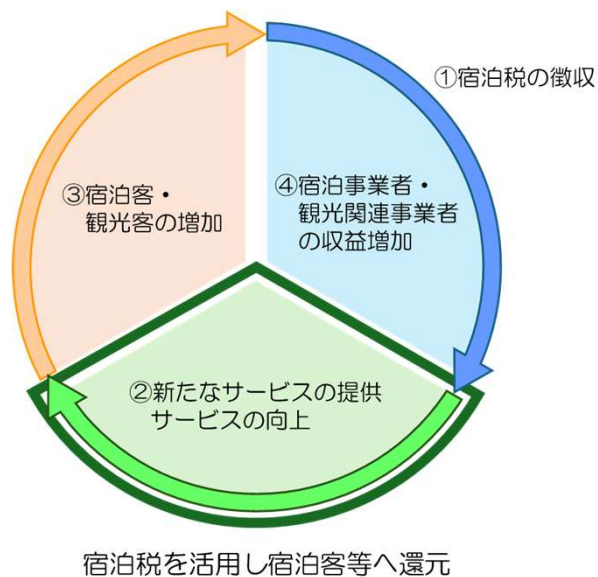
- 継続した観光振興施策を展開するためには、安定的に財源を確保する必要があることから、宿泊税等の新たな観光振興財源の確保に向けた検討を推進



(イメージ) 好循環サイクル

- ① 宿泊税を徴収することで、
- ② 受入環境整備、観光資源の魅力向上、効果的な情報発信、観光振興の体制強化等に取り組むことで、宿泊客等への新たなサービスの提供・サービスの向上を図り、
- ③ 宿泊客・観光客の増加につなげ、
- ④ 宿泊事業者・観光関連事業者の収益が増加する。
⇒ (宿泊税の増加)

という好循環のサイクルとなる仕組みを作ることを目指す



※都道府県の状況 (2026.3.31時点)

【導入済み】

東京都 (2002年)
大阪府 (2017年)
福岡県 (2020年)
宮城県 (2026年)

【導入予定】

北海道、長野県、広島県、沖縄県

